



「新しい朝」能登双見(金剛崎・狼煙)

[洋画家:岡崎洋児氏(珠州市狼煙町)]

こらむ

アイデンティティ 41

帰省再考の情

珠洲に命たぎる「倒さスギ」有り

珠洲市上戸の田圃が広がる片隅のエリアー真言宗の古刹・高照寺の門前近くに巨大な老杉がある。誰が名付けたかこの化け物のような巨木に「倒さスギ」と命名した。見慣れた日本スギの枝ぶりや形状とは異常で常識の体を成さない。下枝は土を這うように水平近くまで傾き、今にも横たわり倒れそうに思われる。倒れて後止むの句のように一生懸命やりぬき死して後止む息遣いさえ感じる。

周りは静寂である。この地にあつて幾年生きてきたのであろう。何を見続け、何を語りたいのか。樹齢はおおよそ900年だそうで、県の天然記念物に指定されている。年齢を重ねた樹歴に長く珠洲を見取ってきた歴史力を感じさせられるのである。

神社仏閣には神仏を誘い象徴する神木がある。我が「倒さスギ」はがっちりした根っこを張り、風雪に耐え、時に瀕死の状態にあり時に絶望の淵にあつても悠然として平平凡凡に耐えしのぎ、然も上枝は天空を指している。

離れてみれば、今にも雨・風・雲を呼び竜巻を起こして天に昇らんとする昇り龍のように見え、また今様の宇宙基地の姿にも似て、天地を繋ぐ霊木に思えたのであった。とにかく、珠洲を知る主のような生き字引であることは確かである。

(押上武文(府中市) 宝立町出身)

美しい能登

挿絵画家 西のぼる氏

世界農業遺産を描く(その4)



2011(平成23)年6月能登半島の古くからの営みが伝わる能登の里山海が世界農業遺産に認定されました。歴史小説の装画で著名な珠洲市出身の西のぼる氏は、能登半島の美しい風景と共に豊かな里海里山で生きる人々の悠久の営みを優美で繊細な筆致で描き上げています。



◆あえのこと

「あえのこと」とは、能登一帯に伝わる「田の神」という神様に豊作の感謝と願いを込めた伝統行事である。

家主は袴を着て、収穫の終わった12月の田に出向き田の神を自宅に招き入れる。田の神は目が見えないので、お風呂の案内や御馳走を奨める時など、極めて丁寧な口上を述べる。

「あえのこと」は国の重要無形文化財並びに、ユネスコ無形文化遺産に認定され、古式と厳格さを止めた貴重な儀式である。



◆能登の海(見附島)

佐渡島から能登に船で渡って来た「空海」が最初に見つけた島なので「見附島」と名付けられたと言われている。

珪藻土の白い土肌が剥き出しの島の上部には、草木がこんもり生い茂っている奇岩で、能登を代表する景勝地となっている。

島の形が軍艦に似ていることから別名「軍艦島」とも呼ばれ、その威風を漂わせる姿は見る人に深い印象を与える。昇る朝日と島のコラボは絶景であり一見の価値がある。

鑑賞文 すぐ椿協会監事 田中栄俊

作者略歴

昭和21年珠洲市生まれ 昭和40年飯田高校卒 作家・森山啓の知遇を得、地方紙にさし絵やイラストを描く。西村寿行「怨霊孕む」(昭54)で中央誌デビュー。以後、錚々たる人気作家とコンビを組み、時代・歴史小説をはじめミステリーやSFなど、多くの作品にさし絵を描いている。(白山市在住)

エッセー「心に勇気 珠洲は暖かく」

昨年文芸誌『小説すばる』に、神奈川県出身の作家深緑野分さんが、「思い出ステーション」というエッセーの中で、能登線珠洲駅での思い出の一コマをつづられていた。

九年前の三月、当時二十二歳だった深緑さんは、家庭の問題もかかえながら金沢駅から珠洲市行きの特急バスに乗られた。目的地は珠洲にある自家焙煎珈琲豆の店だったという。早春の能登は曇天で、たえまなく雪が降り続き白一色だったらしい。

特急バスの終点は珠洲駅で、市内バスが来るまで陽が落ちた駅舎のストープにぼつねんと暖をとられている描写に旅行者の深い孤独感がにじみ出ていて胸が痛んだ。その心細かった深緑さんを勇気づけたのは、黄色い車両から大笑いしながらはじけるように降りてきた地元の制服姿の高校生たちだったとい

う。少年少女たちは誰も防寒具を着けず極端なほど明るく、深緑さんはなんと、身体がほのかに暖くなり元気を取り戻していかれたのだという。

長いこと、挿絵や装丁画に関わりながら生計をしてきたが、仕事が上手くいく日とそうではない日がある。何かが違うのだろうが、私には分からない。ただ仕事が順調にいき納得できる画が描けた時は、全てのことを忘れてこの世はまるで自分中心に動いているように錯覚してしまう。昔、仏師たちは、一彫しては、三礼をしたという記述にであったことがあったが、そろそろ私も自分は何者であるかに気付き、ただただ描かせていただけることに深く感謝しなければならないのだと思うようになった。

(2014年6月28日 北陸中日新聞より)

東京珠洲会定時総会 90人で開催される

11月9日浅草ビューホテルにおいて第56回東京珠洲会定時総会・懇親会が開催された。

珠洲市からは泉谷満寿裕珠洲市長、三益三千三珠洲市議会議長、刀杵秀一珠洲商工会議所会頭らが参加した。

本田ゆり子さんの司会で総会が開かれ、笠原英二会長は「今年は異常気象による自然災害が続いた。平成最後の会を故郷の話で盛り上がり上げていただきたい」と挨拶し、来賓の泉谷市長は「珠洲市の人口減少が続いてお



り、移住定住、交流人口の拡大に取り組んでいる。国連のSDGs(持続可能な開発目標)でなど6つの事業申請を行っている。ふるさと納税もよろしく」などと協力を要請した。来賓として、石田寛人石川県人会長、横川浩三石川県東京事務所長が挨拶した。

藤野裕之珠洲物産協会会長の乾杯発声で懇親会に移行し、珠洲の地酒を堪能しながら、お馴染みになったキングレコードササキホコさんのフラメンコショーやアントニオさんのバイオリン演奏のアトラクションを楽しんだ。恒例のお楽しみ抽選会では故郷の銘品などの景品に顔を和ませていた。顧問の表久雄弁護士が中締めを行い、田中重雄顧問が閉会の挨拶をした。会場内のすずなり物産店は完売の盛況で、芋菓子、太鼓まんじゅうなどのお土産を手に散会した。

石川県人会行事〈案内〉

新年講演会・昼食会

1月20日(土)ルポール麹町
歴史作家・童門冬二氏

◆演題「いしかわ百万石の地方創生」
加賀文化の源流と継承、そして今も“かがやき”続ける
会費(昼食会含む) 5,000円

本行事は、石川県人会総会後に続いて開催されます。
一般の方の参加は会員の同行者に限られます。

歴史ファンにとってはまたとない機会ですので、参加ご希望の方はお申し出ください。「歴女」大歓迎!!



郷土訪問旅行・湯涌温泉 「氷室の仕込み(雪詰め)」

1月27日(日)
10:00～金沢市湯涌温泉(夢二館前広場・玉泉湖畔氷室小屋)

(お問合せは、当応援団 090-8876-4901 石川県人会 03-3556-1414)

石川県人会行事〈紹介〉

宇喜多秀家鎮魂祭・八丈島訪問

11月17・18日八丈島
宇喜多秀家鎮魂祭に山城博光副会長以下14人が参加した。秀家に嫁いだ前田利家の四女・豪姫のゆかりから、昨年



は、前田利裕18代ご当主、宇喜多秀臣15代ご当主が参加して歴史的な行事となった。今年には宇喜多家の本拠であった岡山から大森雅夫岡山市長、武久頭也瀬戸内市長以下40人が参加する他、豪姫の菩提寺・大蓮寺(金沢)及び岡山・宇喜多家の菩提寺・祈祷寺など五寺の住職が参列し、鎮魂祭は盛況に執り行われ、八丈島・岡山・金沢のトライアングル交流が一層深まった。



床坊美智子さん
(珠洲市飯田町)
フェルト手芸作品
(見附太郎ストラップ)

ふるさと行事のご案内

- 1月15日(火) オーケストラアンサンブル金沢 東京公演 紀尾井ホール
- 1月16日(水)～21日(月) 加賀百万石物語展 伊勢丹浦和店
- 1月20日(日)・21日(月) 加賀・越前観光フェア KITTE地下1階
- 1月22日(火) 目黒石川県人会新年会 目黒庄や
- 1月26日(土) 新・農業人フェア 池袋サンシャインシティ
- 1月26日(土) 板橋石川県人会新春の集い 池袋・ホテルメトロポリタン
- 2月8日(金) いしかわ伝統工芸フェア2019 後楽園ドームシティ・プリズムホール
- 2月20日(水)～25日(月) 加賀百万石物語展 伊勢丹立川店
- 2月23日(土) いしかわ百万石の集い ハイアットリージェンシー東京
- 3月28日(木) オーケストラアンサンブル金沢 東京公演 サントリーホール

～首都圏行事案内～

いしかわの工芸

能登・金沢・加賀

いしかわ伝統工芸フェア2019

職人たちの創意工夫により現代に継承されている伝統的工芸品、文様にめづらしている歴史ストーリーなどを、いしかわの伝統的工芸品とともに紹介いたします。

伝統にまなぶ文様 工芸百選

50の工芸専門店
「いしかわ工芸通り」
約30,000点の商品を
フェア特価でご提供!

スペシャルゲストのトークステージ開催

2/8日 女優 賀来 千香子さん
ご来場!
10:40～トークステージ

2/9日 13:30～
食糧博プロデューサー
木村みずみさん

2/9日 13:30～
奥千歳今日庵 兼
奈良久さん

2/10日 加賀着物ショー
11:00～13:30～

産地お奨め 特別限定販売品

2019年 2月8日(金) 9日(土) 10日(日)
午前10時～午後6時 (最終日は午後4時まで)

東京ドームシティ・プリズムホール

入場無料

2月3日(日)から11日(月・祝)まで
東京ドームで開催される
「テンプルフェスティバル2019」にも
いしかわの伝統的工芸品が多数出品!

第5回 いしかわ 百万石の集い

ISHIKAWA HYAKUMANGOKU NO TSUDO!

2019 2/23(土) 12:00～14:30

会場
ハイアットリージェンシー東京
東京都新宿区西新宿 2-7-2

主催
首都圏いしかわ交流推進委員会、
石川県、石川県人会

第5回 いしかわ 百万石の集い

2019年2月23日(土) 12:00～14:30

参加者大募集

受付開始・開場時間 11:00

第1部 12:00～12:30 石川県政報告
石川県知事 谷本 正憲

第2部 12:40～14:30 交流会
●石川の食・地酒・PRブース ●ステージイベント
●石川の物産販売・PRブース ●ふるさと抽選会
その他盛りだくさん!
※内容は変更になる場合がございます。

参加費

一般	5,000円 (抽選券・お土産券付)
大学・高校生	3,000円 (抽選券付)
小・中学生	1,500円 (抽選券付)
乳幼児	無料

会場までのアクセス

～輪島市・穴水町 行事案内～



輪島朝市感謝祭2019
●2月9日(土) 輪島朝市内
にぎわい大市
●2月16日(土)17日(日) 輪島マリンタウン

雪中ジャンボかきまつり2019
●2月9日(土)10日(日)
穴水湾・あすなる広場



事務局から

昨年は、異常気象なのか豪雪や台風の豪雨など災害が多い年で、小木港いか漁の不調など自然相手の農林水産業には痛手となりました。新しい年が平穏であることをご祈念申し上げます。テレビ番組などメディアに奥能登が紹介される機会が多くなったように感じます。一人一人が「観光大使」です。北陸のAKB(甘エビ、カニ、ブリ)奥能登のAKB(アンコウ、かき、能登牛(ビーフ))を大いにPRしましょう!!

〔東京奥能登応援団〕 代表/光真章、副代表/下平康次 下谷信子



北野多津子さん
(能登町小木)の押し絵作品